



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月7日

上場会社名 東洋紡株式会社

上場取引所 東

コード番号 3101 URL <https://www.toyobo.co.jp/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹内 郁夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 石丸 園子 TEL 06-6348-3044

半期報告書提出予定日 2024年11月14日

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	209,161	4.9	6,931	193.5	3,180	206.5	114	△94.3
2024年3月期中間期	199,419	△0.8	2,361	△70.1	1,038	△84.7	2,011	△81.7

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 2,018百万円 (△51.4%) 2024年3月期中間期 4,150百万円 (△69.2%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	1.29	-
2024年3月期中間期	22.82	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	603,176	228,869	32.0	2,191.14
2024年3月期	606,990	230,087	32.5	2,236.50

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 193,200百万円 2024年3月期 197,033百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	40.00	40.00
2025年3月期	-	0.00	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	-	-	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	435,000	5.0	17,000	89.0	11,500	65.2	2,600	5.9	29.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 - 社（社名）、除外 - 社（社名）

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	89,048,792株	2024年3月期	89,048,792株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	875,462株	2024年3月期	949,992株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	88,129,699株	2024年3月期中間期	88,094,277株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
3. 補足情報	11
(1) セグメント別売上・営業利益	11
(2) その他参考指標	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、米国では、物価上昇が鈍化し政策金利が引き下げに転じる中、経済活動は個人消費に支えられ底堅く推移しました。中国では、不動産不況の長期化や消費の低迷など内需の不振により、景気は弱い動きが続いています。国内においては、政策金利の引き上げが実施される中、インバウンド需要の増加や設備投資の拡大により、景気は緩やかに回復しました。今後、国際情勢不安定化による原燃料価格の変動、中国や米国などの景気動向が、事業環境に影響を及ぼすことが予想されます。

こうした事業環境のもと、セラミックコンデンサ用離型フィルム、包装用フィルムは、荷動きは緩やかに回復しましたが、本格的な需要の回復には至りませんでした。一方、液晶偏光子保護フィルム“コスモシャインSRF”、リチウムイオン電池セパレータ製造工程で使用されるVOC回収装置、中東向け特化生地は堅調に推移しました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は前年同期比97億円(4.9%)増の2,092億円となり、営業利益は同46億円(193.5%)増の69億円、経常利益は同21億円(206.5%)増の32億円、親会社株主に帰属する中間純利益は、同19億円(94.3%)減の1億円となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりです。

(フィルム)

包装用フィルム事業では、荷動きは緩やかに回復し、原燃料価格に対する製品価格の改定は進捗しましたが、新製品の開発費用などコスト上昇の影響を受けました。

工業用フィルム事業では、セラミックコンデンサ用離型フィルムは、サプライチェーン全体の在庫調整は完了しましたが、本格的な需要拡大に至らず低調でした。液晶偏光子保護フィルム“コスモシャインSRF”は堅調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比48億円(6.1%)増の828億円、営業利益は同16億円(110.4%)増の30億円となりました。

(ライフサイエンス)

バイオ事業では、診断薬用原料酵素は国内外ともに堅調に推移しましたが、生産能力増強に伴う費用が増加しました。

メディカル事業では、人工腎臓用中空糸膜の需要は堅調に推移しましたが、製造コストの上昇に加え、新工場の立上げ費用の増加の影響を受けました。

医薬品製造受託事業では、FDAからのWarning Letterが解除されたことにより、収益性が改善しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比6億円(3.9%)増の172億円となり、営業利益は同15億円(62.2%)減の9億円となりました。

(環境・機能材)

樹脂・ケミカル事業では、エンジニアリングプラスチックは、北中米向け自動車用途の販売が拡大しました。水現像型感光性印刷版用途の光機能材料は、中国を中心に販売が増加しました。

環境・ファイバー事業では、環境ソリューションは、リチウムイオン電池セパレータ製造工程で使用されるVOC回収装置や交換用エレメントの販売が増加したことに加え、リチウムを濃縮回収するためのBC (Brine Concentration) 膜装置の販売が寄与しました。高機能ファイバーは、海外需要を着実に取り込み、堅調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比27億円(5.1%)増の552億円、営業利益は同30億円(806.9%)増の34億円となりました。

(機能繊維・商事)

衣料繊維事業では、中東向け特化生地は、強い需要に牽引され販売を伸ばしたことに加え、為替影響により輸出採算が好転しました。さらに、国内生産拠点集約などの構造改革により、収益性が改善しました。

エアバッグ用基布事業では、製品価格の改定が進み、収益性が改善しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比23億円(5.0%)増の479億円、営業利益は1億円となりました(前年同期は営業損失9億円)。

(不動産、その他)

当セグメントでは、不動産、エンジニアリング、情報処理サービス、物流サービス等のインフラ事業は、それぞれ概ね計画どおりに推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は前年同期比6億円(9.7%)減の60億円、営業利益は同2億円(15.9%)減の12億円となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前年度末比38億円(0.6%)減の6,032億円となりました。これは主として設備投資により有形固定資産が増加した一方で、現金及び預金や受取手形及び売掛金が減少したことによります。

負債は、前年度末比26億円(0.7%)減の3,743億円となりました。これは主として借入金が増加した一方で、支払手形及び買掛金や電子記録債務が減少したことによります。

純資産は、非支配株主持分が増加した一方で、配当金の支払などにより利益剰余金が減少したことから、前年度末比12億円(0.5%)減の2,289億円となりました。

キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、171億円の収入となりました。主な内容は、減価償却費112億円、売上債権の減少による資金の増加29億円および税金等調整前中間純利益23億円です。

当中間連結会計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、243億円の支出となりました。主な内容は、有形及び無形固定資産の取得による支出246億円です。

当中間連結会計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、13億円の収入となりました。主な内容は、長期借入れによる収入306億円および社債の発行による収入170億円と、短期借入金の純減少額198億円、社債の償還による支出150億円、長期借入金の返済による支出53億円および配当金の支払額35億円です。

この結果、当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前年度末比62億円減の271億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の当社グループの連結業績は、概ね予想どおりに推移しており、2025年3月期通期の連結業績予想については、2024年5月13日に発表しました予想から変更は行っていません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,796	28,353
受取手形及び売掛金	87,743	82,498
契約資産	140	1
電子記録債権	14,921	13,827
商品及び製品	69,996	65,640
仕掛品	20,566	21,656
原材料及び貯蔵品	31,421	32,674
その他	15,488	12,990
貸倒引当金	△337	△340
流動資産合計	273,733	257,300
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	64,575	72,791
機械装置及び運搬具(純額)	59,855	66,107
土地	91,049	90,396
建設仮勘定	53,025	49,508
その他(純額)	12,972	13,112
有形固定資産合計	281,475	291,913
無形固定資産	4,670	4,857
投資その他の資産		
その他	48,380	49,174
貸倒引当金	△1,268	△68
投資その他の資産合計	47,112	49,107
固定資産合計	333,257	345,877
資産合計	606,990	603,176

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,782	44,721
電子記録債務	4,229	3,135
短期借入金	68,385	48,436
1年内償還予定の社債	15,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	13,069	15,908
引当金	5,308	5,526
その他	28,375	26,236
流動負債合計	184,148	153,963
固定負債		
社債	60,000	67,000
長期借入金	85,637	108,192
再評価に係る繰延税金負債	18,762	18,754
役員退職慰労引当金	274	177
環境対策引当金	11	11
退職給付に係る負債	15,901	15,322
その他	12,171	10,888
固定負債合計	192,755	220,344
負債合計	376,903	374,307
純資産の部		
株主資本		
資本金	51,730	51,730
資本剰余金	33,187	32,647
利益剰余金	70,315	66,954
自己株式	△1,006	△925
株主資本合計	154,227	150,406
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,801	1,988
繰延ヘッジ損益	△1	△74
土地再評価差額金	40,603	40,590
為替換算調整勘定	△548	△785
退職給付に係る調整累計額	951	1,076
その他の包括利益累計額合計	42,806	42,794
非支配株主持分	33,054	35,669
純資産合計	230,087	228,869
負債純資産合計	606,990	603,176

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	199,419	209,161
売上原価	157,659	161,892
売上総利益	41,760	47,269
販売費及び一般管理費	39,399	40,338
営業利益	2,361	6,931
営業外収益		
為替差益	1,395	—
受取補償金	—	480
その他	898	1,210
営業外収益合計	2,293	1,690
営業外費用		
支払利息	636	917
その他	2,980	4,524
営業外費用合計	3,616	5,441
経常利益	1,038	3,180
特別利益		
関係会社株式売却益	—	1,489
投資有価証券売却益	3,047	78
特別利益合計	3,047	1,567
特別損失		
減損損失	—	950
固定資産処分損	787	1,357
固定資産売却損	—	125
持分変動損失	212	—
特別損失合計	998	2,433
税金等調整前中間純利益	3,086	2,314
法人税等	1,519	165
中間純利益	1,567	2,149
非支配株主に帰属する中間純利益又は 非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△444	2,035
親会社株主に帰属する中間純利益	2,011	114

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	1,567	2,149
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,878	183
繰延ヘッジ損益	96	△116
為替換算調整勘定	3,647	△1,008
退職給付に係る調整額	267	125
持分法適用会社に対する持分相当額	451	684
その他の包括利益合計	2,584	△131
中間包括利益	4,150	2,018
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4,170	162
非支配株主に係る中間包括利益	△20	1,856

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	3,086	2,314
減価償却費	9,395	11,178
支払利息	636	917
売上債権の増減額(△は増加)	5,005	2,912
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,924	△259
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,568	△3,020
その他	3,105	6,113
小計	11,736	20,156
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,655	△3,056
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,081	17,100
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△28,772	△24,585
その他	1,839	246
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,933	△24,339
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△22,022	△19,790
長期借入れによる収入	30,208	30,600
長期借入金の返済による支出	△8,554	△5,307
社債の発行による収入	—	17,000
社債の償還による支出	△10,000	△15,000
利息の支払額	△628	△864
配当金の支払額	△3,527	△3,519
その他	△900	△1,844
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,423	1,277
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,510	△261
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△30,765	△6,223
現金及び現金同等物の期首残高	60,204	33,310
現金及び現金同等物の中間期末残高	29,439	27,087

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自2023年4月1日 至2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	フィルム	ライフサイ エンス	環境・機能 材	機能繊維・ 商事	不動産	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	78,055	16,559	52,529	45,674	2,000	194,817	4,602	199,419	—	199,419
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,134	7	4,776	591	582	7,090	9,572	16,662	△16,662	—
計	79,189	16,566	57,305	46,264	2,582	201,907	14,175	216,082	△16,662	199,419
セグメント利益 又は損失(△)	1,433	2,395	370	△854	971	4,315	411	4,725	△2,364	2,361

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物・機械等の設計・施工、情報処理サービス、物流サービス等の事業を含んでいます。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,364百万円には、セグメント間取引消去△240百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,124百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究に係る費用です。
3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当中間連結会計期間(自2024年4月1日 至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	フィルム	ライフサイ エンス	環境・機能 材	機能繊維・ 商事	不動産	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	82,813	17,202	55,233	47,949	2,059	205,257	3,903	209,161	—	209,161
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,189	53	4,254	573	581	6,650	6,075	12,724	△12,724	—
計	84,002	17,255	59,487	48,522	2,641	211,907	9,978	221,885	△12,724	209,161
セグメント利益	3,014	905	3,359	108	889	8,275	272	8,547	△1,616	6,931

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物・機械等の設計・施工、情報処理サービス、物流サービス等の事業を含んでいます。
2. セグメント利益の調整額△1,616百万円には、セグメント間取引消去271百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,887百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究に係る費用です。
3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「フィルム」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間においては950百万円です。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) セグメント別売上・営業利益

(注) 当連結会計年度における下半期及び年度の数値は、当第2四半期(中間期) 決算発表時点での予想数値です。

(単位: 億円)

		売上高				営業利益		
		前連結 会計年度	当連結 会計年度	対前年 増減	増減%	前連結 会計年度	当連結 会計年度	対前年 増減
		自2023. 4. 1 至2024. 3. 31	自2024. 4. 1 至2025. 3. 31			自2023. 4. 1 至2024. 3. 31	自2024. 4. 1 至2025. 3. 31	
フィルム	1 Q	390	421	+ 31	+ 8.0%	12	15	+ 3
	2 Q	391	407	+ 16	+ 4.2%	2	15	+ 13
	上	781	828	+ 48	+ 6.1%	14	30	+ 16
	下	785	872	+ 87	+ 11.1%	13	35	+ 22
	年度	1,565	1,700	+ 135	+ 8.6%	27	65	+ 38
ライフサイエンス	1 Q	81	81	△ 1	△ 0.8%	14	4	△ 10
	2 Q	84	91	+ 7	+ 8.4%	10	5	△ 5
	上	166	172	+ 6	+ 3.9%	24	9	△ 15
	下	180	208	+ 28	+ 15.5%	20	23	+ 3
	年度	346	380	+ 34	+ 9.9%	44	32	△ 12
環境・機能材	1 Q	250	281	+ 31	+ 12.3%	△ 7	13	+ 19
	2 Q	276	272	△ 4	△ 1.4%	10	21	+ 11
	上	525	552	+ 27	+ 5.1%	4	34	+ 30
	下	628	598	△ 30	△ 4.8%	43	46	+ 3
	年度	1,153	1,150	△ 3	△ 0.3%	47	80	+ 33
機能繊維・商事	1 Q	222	240	+ 19	+ 8.5%	△ 7	2	+ 9
	2 Q	235	239	+ 4	+ 1.7%	△ 1	△ 1	+ 0
	上	457	479	+ 23	+ 5.0%	△ 9	1	+ 10
	下	500	521	+ 21	+ 4.1%	△ 2	4	+ 6
	年度	957	1,000	+ 43	+ 4.5%	△ 10	5	+ 15
不動産・その他	1 Q	28	29	+ 1	+ 3.4%	4	5	+ 1
	2 Q	38	31	△ 7	△ 19.3%	10	7	△ 3
	上	66	60	△ 6	△ 9.7%	14	12	△ 2
	下	56	60	+ 5	+ 8.3%	16	13	△ 3
	年度	122	120	△ 2	△ 1.5%	30	25	△ 5
消去又は全社	1 Q					△ 17	△ 7	+ 9
	2 Q					△ 7	△ 9	△ 2
	上					△ 24	△ 16	+ 7
	下					△ 24	△ 21	△ 3
	年度					△ 48	△ 37	+ 11
合計	1 Q	971	1,052	+ 81	+ 8.4%	△ 1	31	+ 32
	2 Q	1,024	1,040	+ 16	+ 1.6%	24	38	+ 14
	上	1,994	2,092	+ 97	+ 4.9%	24	69	+ 46
	下	2,148	2,258	+ 110	+ 5.1%	66	101	+ 34
	年度	4,143	4,350	+ 207	+ 5.0%	90	170	+ 80

(2) その他参考指標

1. 設備投資額・減価償却費

(単位: 億円)

	設備投資額	減価償却費
2022年3月期	336	201
2023年3月期	427	190
2024年3月期	616	198
2025年3月期中間期	250	112

2. 有利子負債残高・金融収支

(単位: 億円)

	有利子負債残高	金融収支
2022年3月期	1,912	△6
2023年3月期	2,294	△9
2024年3月期	2,492	△7
2025年3月期中間期	2,566	△5

3. 研究開発費

(単位: 億円)

	研究開発費
2022年3月期	138
2023年3月期	141
2024年3月期	153
2025年3月期中間期	72

4. 従業員数

(単位: 人)

	従業員数
2022年3月期	10,503
2023年3月期	10,885
2024年3月期	10,668
2025年3月期中間期	10,366